UPS 機能着脱式
ノンストップ ATX 電源

Excellent Nonstop DC Power Supply

取扱説明書

型式　eNSP-300P-S20-00S
　　　　eNSP-300P-S20-11S

第 1 版

㈱ニプロン

— 目　次 —

1. 安全上のご注意

ご使用の前に、この安全上のご注意をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
ここに示した注意事項は、本システムを安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いを行うと生じることが想定される内容を、「危険」、「警告」「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。
なお、各ご注意文の文中で電源、バッテリーパックとはそれぞれeNSP電源、ノンストップ電源用バッテリーパックのことです。

⚠ 危険	**取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い危害の程度**
⚠ 警告	**取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定される危害の程度**
⚠ 注意	**取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定される危害・損害の程度**

(*1)： 重傷とは失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒等で後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをいう
(*2)： 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをいう
(*3)： 物的損害とは、家具・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指す

■ eNSP 電源に関する安全上のご注意とお願い

⚠ 警告	**・電源から煙が出たり、異臭や異音がしたりするなど異常状態のまま使用しないで下さい。 感電、火災の原因となります。異常状態のときはすぐに電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜き、販売店にご連絡下さい。 ・電源を分解、改造しないで下さい。 けがや発熱、発火、感電の原因となります。 ・金属片や金属棒を、電源の端子部や基板部へ接触させないで下さい。 けがや発熱、発火、感電の原因となります。特に据付け時にご注意下さい。 ・電源の開口部から内部にものをさし込んだり、落としたりしないで下さい。 また、このような状態のまま使用しないで下さい。 発熱、発火、火災の原因となります。特に据付け時にご注意下さい。 ・電源を結露した状態で使用しないで下さい。 発熱、発火、感電の原因となります。 ・電源の通風口をふさがないで下さい。 発火の原因となります。 ・出力端子を短絡させないで下さい。 発火、感電の原因となります。**

■ eNSP 電源に関する安全上のご注意とお願い（つづき）

⚠ 注意	**・アース を必ず接地して下さい。 接地を行わないと仕様の性能が発揮できなかったり感電の原因となります。 ・濡れた手で電源を扱わないで下さい。 けがや感電の原因となります。 ・電源を水や海水につけたり濡らさないで下さい。 けがや感電の原因となります。 ・電源を高温中に放置しないで下さい。 発熱、発火の原因となります。 ・電源動作中にＡＣ電源コード、RS232C ケーブル、電源の各コネクタの挿抜をおこなわないで下さい。 故障や感電の原因となります。 ・ＰＣ稼動中に電源のスイッチを OFF しないで下さい。 ＰＣに損傷を与えることがあります。特にハードディスクドライブ等の記憶装置が稼動中にスイッチを OFF するとデータ破壊の恐れがあります。 ・PC ケースからはずした状態で使用しないで下さい。 感電や故障の原因となります。 ・頻繁に電源の ON, OFF を繰り返さないで下さい。 故障の原因となります。**

お願い	**・電源の封印シールを剥がさないで下さい。 封印シールを剥がしますと保証の対象外となりますので、ご注意下さい。**

■ ノンストップ電源用バッテリーパックに関する安全上のご注意とお願い

⚠ 危険	**・バッテリーパックを分解、改造しないで下さい。 漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。 ・金属片や金属棒を、バッテリーパックの端子部や基板部へ接触させないで下さい。 漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。特に据付け時にご注意下さい。 ・バッテリーパックを火の中へ投入したり、加熱しないで下さい。 漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。 ・バッテリーパックから煙が出たり、異臭や異音がしたりするなど異常状態のままで使用しないで下さい。 漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。 ・バッテリーパックの開口部から内部にものをさし込んだり、落としたりしないで下さい。また、このような状態のまま使用しないで下さい。 漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。特に据付け時にご注意下さい。 ・バッテリーパックはノンストップ電源専用です。他の機器、用途には絶対に使用しないで下さい。 漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。 ・電池が漏液して液が目に入ったときは失明の原因となりますので、こすらずにすぐにきれいな水で十分に洗った後に、直ちに医師の治療を受けて下さい。**

■ ノンストップ電源用バッテリーパックに関する安全上のご注意とお願い （つづき）

⚠ 警告	・バッテリーパックを水や海水につけたり濡らさないで下さい。 発熱や故障の原因となります。

⚠ 注意	・バッテリーパックを暖房器具の近くや直射日光の当たる場所に放置しないで下さい。 漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。 ・バッテリーパックを長期間使用しない場合は、仕様で規定された温度範囲内の湿気の少ない場所に保管して下さい。 規定温度範囲外で保管した場合、漏液の原因となることがあります。 ・バッテリーパックは消耗品です。 寿命を過ぎたバッテリーパックの使用を続けた場合、漏液、発熱の原因となることがあります。 ・電源動作中にバッテリーパックの各コネクタの挿抜をおこなわないで下さい。 故障の原因となります。

お願い	・鉛蓄電池式バッテリーパックをご使用の場合、寿命を過ぎたバッテリーパックはお客様にて処分せず、必ずお買いあげの販売店にお持ち込み下さい。 ・バッテリーパックの封印シールを剥がさないで下さい。 封印シールを剥がしますと保証の対象外となりますので、ご注意下さい。

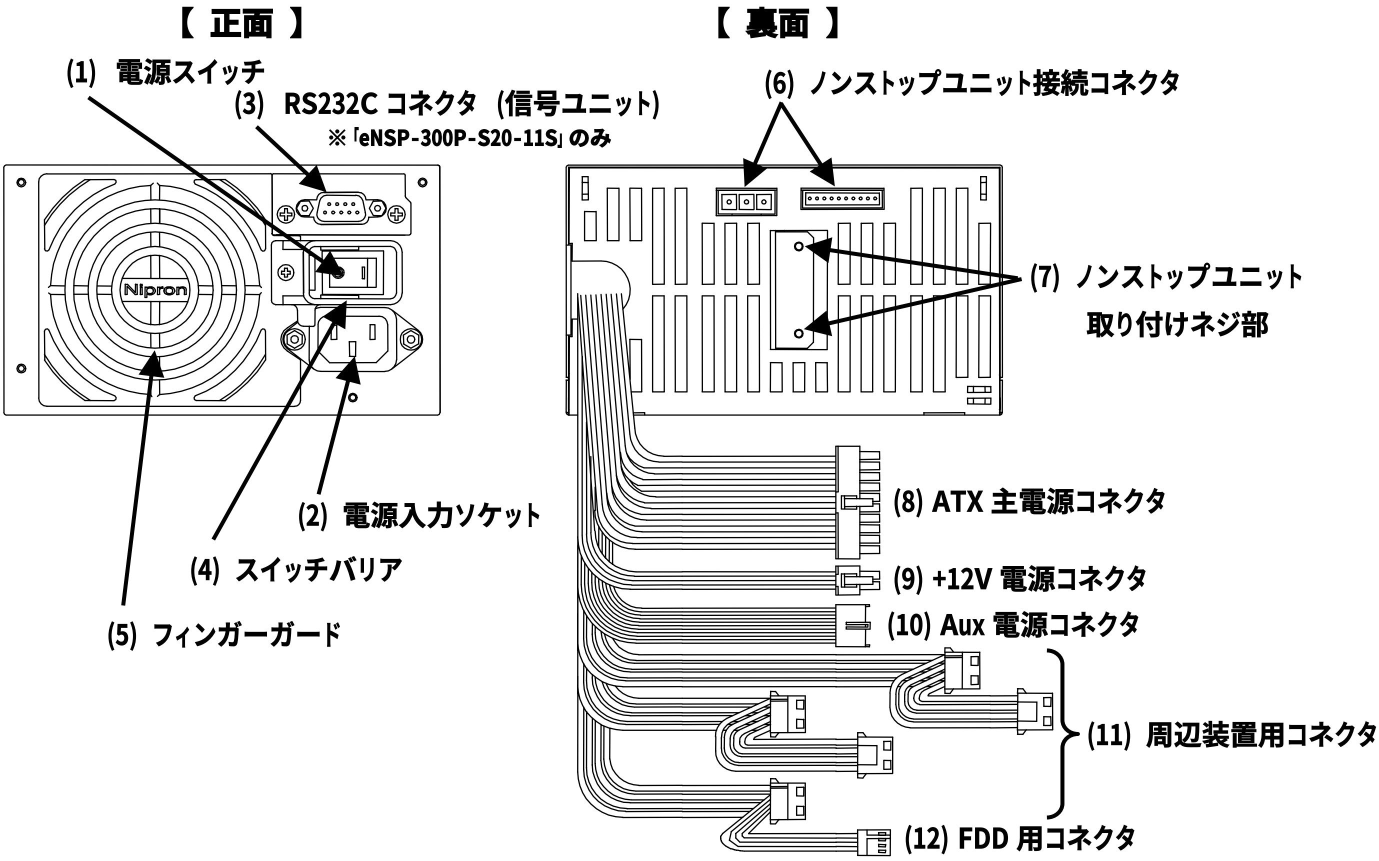
2. 用途制限について

本システムを、以下のような用途に使用しないで下さい。

・人の生命に直接関わる装置等（生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器）
・人身の安全に関わる用途（鉄道、航空宇宙機、船舶などの運転制御）
・公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置（原子力制御システム、公共の交通システムなど）

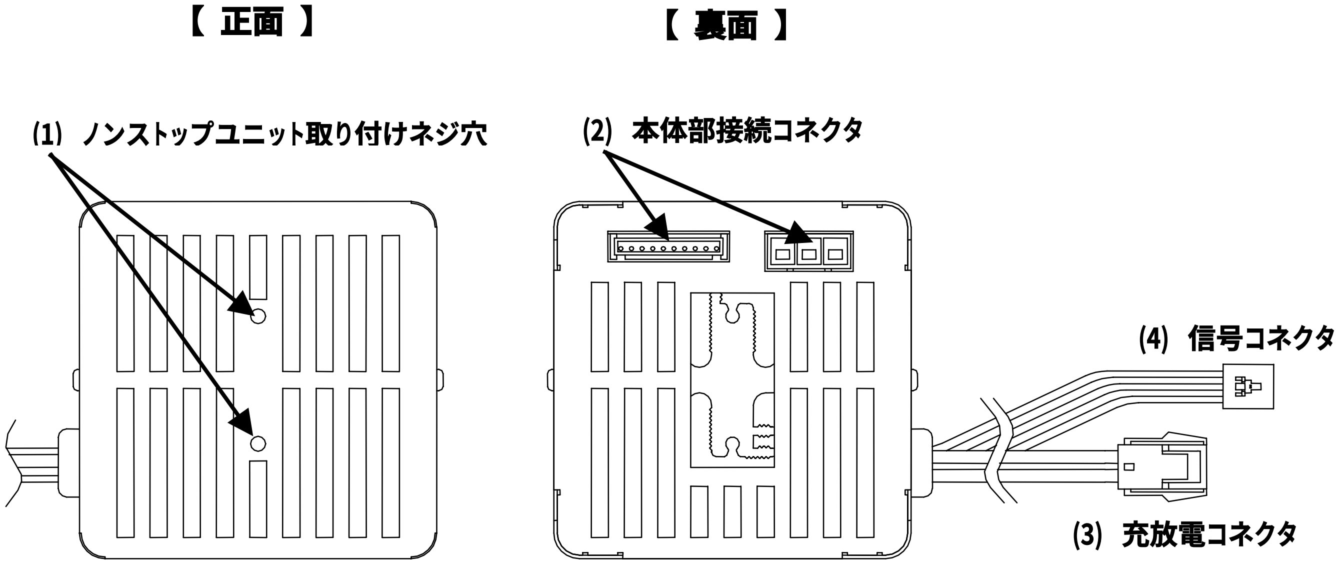
3. 各部の名称，機能

本体部



No.	名称	機能
(1)	電源スイッチ	本電源の ON/OFF を行います。
(2)	電源入力ソケット	AC 電源コードを差込み、AC 商用電源を供給します。AC コードのプラグは AC 商用電源コンセントに差し込みます。
(3)	RS232C コネクタ (信号ユニット)	本電源と PC マザーボード間の通信用コネクタです。専用の RS232C ストレートケーブルを使用します。(「eNSP-300P-S20-11S」のみ付属)
(4)	スイッチバリア	スイッチを誤って ON/OFF しないためのガードです。
(5)	フィンガーガード	電源内部への、異物の侵入を防ぎます。
(6)	ノンストップユニット接続コネクタ	ノンストップユニットを接続するコネクタです。
(7)	ノンストップユニット取り付けネジ部	ノンストップユニットをネジで固定します。
(8)	ATX 主電源コネクタ	PC マザーボードに接続し、電力を供給します。
(9)	+12V 電源コネクタ	PC マザーボードに接続し、電力を供給します。 +12V 電源コネクタが用意されている PC マザーボードにのみ接続できます。
(10)	Aux 電源コネクタ	PC マザーボードに接続し、電力を供給します。 Aux 電源コネクタが用意されている PC マザーボードにのみ接続できます。
(11)	周辺装置用コネクタ	PC 搭載の各種周辺装置に接続し、電力を供給します。
(12)	FDD 用コネクタ	PC 搭載のフロッピーディスクドライブに接続し、電力を供給します。

ノンストップユニット部　（「eNSP-300P-S20-11S」のみ付属）



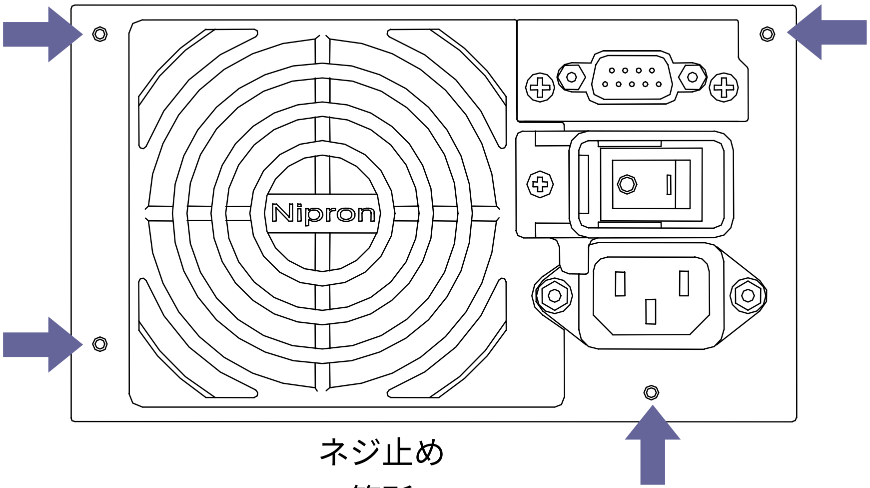
No	名称	機能
(1)	ノンストップユニット取り付けネジ穴	ノンストップユニットを取り付けるためのネジ穴です。
(2)	本体部接続コネクタ	本体部を接続するコネクタです。
(3)	充放電コネクタ	バッテリーパック※の充放電コネクタと接続し、バッテリーの充放電を行います。
(4)	信号コネクタ	電源と PC との通信を、TTL レベルの信号で行いたい場合に用います。（お客様で PC ボードの開発が必要となります。）

※オプション品となります。“7. オプション品（P13）”を参照して下さい。

4. 据え付け手順

1. eNSP 電源をパソコンケース(ATX 仕様)に取り付ける

①パソコンケースのカバーを取り外し、eNSP 電源をネジ4本使用して取り付けます。
※ カバーの取り外し方は、パソコンケースの取り扱い説明書に従って下さい。



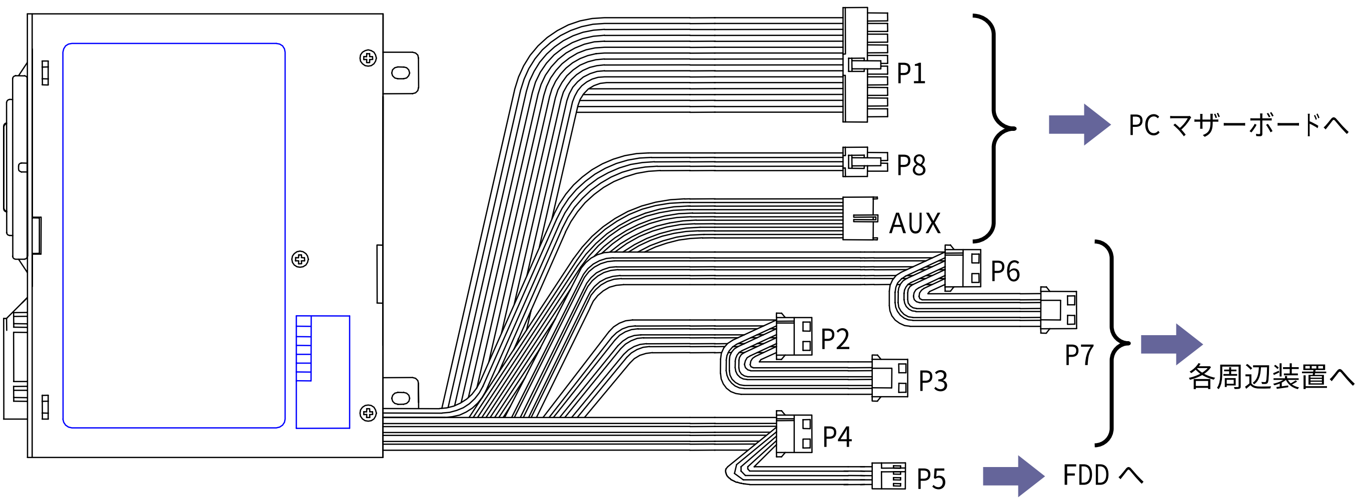
② バッテリーパックをパソコンケース（5 インチベイ）に取り付けます。
（「eNSP-300P-S20-11S」のみ）
※ バッテリーパックはオプション品となります。詳細は"7. オプション品"（P13）を参照してください。

⚠ 注意： **この時電源スイッチが OFF になっていることを確認して下さい。**
電源スイッチが OFF になっていない場合は必ず OFF にして下さい。

⚠ 注意： **電源の取り付けには必ず M3×6 のミリネジを使用して下さい。**

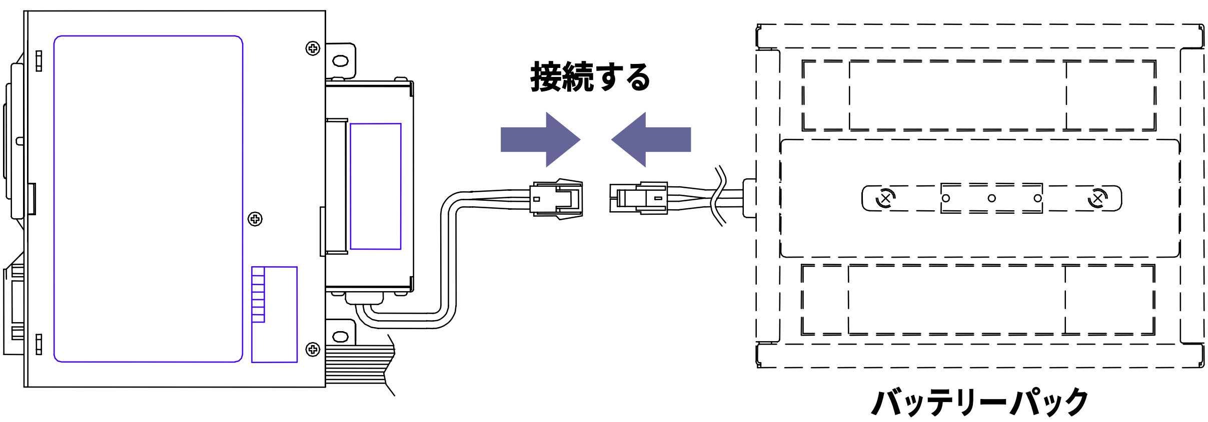
2. eNSP 電源と PC マザーボード，周辺装置を接続する

① ATX 主電源コネクタ（P1）、AUX パワーコネクタ、+12V パワーコネクタ（P8）を PC マザーボードへ接続します。
※ AUX パワーコネクタ、+12V パワーコネクタの接続は PC マザーボードに専用のコネクタが用意されている場合に限ります。
② 周辺装置用コネクタ（P2、P3、P4、P6、P7）を所定の周辺装置へ、FDD 用コネクタ（P5）をフロッピーディスクドライブへ接続します。
※ 余ったコネクタは束ねてください。
③ 各周辺装置と PC マザーボードを接続します。
※ 周辺装置の接続方法は各取り扱い説明書に従って下さい。



3. eNSP 電源とバッテリーパック※を接続する（｢eNSP-300P-S20-11S｣のみ）

eNSP 電源の充放電コネクタとバッテリーパック※のコネクタを接続します。



※オプション品となります。“7. オプション品（P13）”を参照して下さい。

0311

4.　パソコンケースを組み立てる

コネクタ類すべての接続を確認し、パソコンケースを組み立てます。
※ 組み立て方はパソコンケースの取り扱い説明書に従って下さい。

5.　RS232C ケーブル※の接続（「eNSP-300P-S20-11S」のみ）

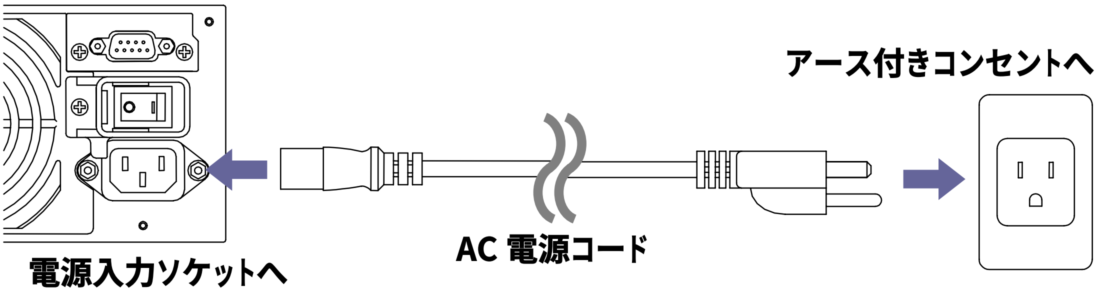
RS232C ケーブルを使って通信を行う場合は、PC と eNSP 電源の D-sub 端子を RS232C ケーブルで接続します。



※オプション品となります。"7. オプション品 (P13) "を参照して下さい。

6.　eNSP 電源と AC 商用電源を接続する

AC 電源コード※を eNSP 電源の電源入力ソケットに接続した後、電源スイッチが OFF になっていることを確認し、AC 商用電源に接続します。



⚠ 注意： **AC 電源コードは、電源アース線接地可能なものを使用して下さい。**
アース線を接地しないと、仕様の性能を発揮できなかったり、感電する恐れがあります。

※オプション品となります。"7. オプション品 (P18) "を参照して下さい。

5. 操作方法

■ 電源の投入

1. eNSP 電源の電源スイッチ投入

eNSP 電源の電源スイッチ（通常のパソコン用ケースに装着した場合はパソコン本体の裏側）を OFF から ON にします。このとき、ファンが低速で回転を始めます。バッテリーパック接続時は、バッテリーパックへの充電を開始します。

⚠ 注意： **お買い上げ後直後、または長期間 eNSP 電源の電源スイッチを OFF していた場合は、バッテリーパックの充電量が低下していますので、電源スイッチを ON にし 10 時間以上経過してからパソコンを使用するようにしてください。充電量が不充分ですと、バックアップ可能な時間が短くなります。**

2. パソコン電源の投入

パソコン本体のフロントスイッチを ON※にします。この操作によりパソコンが起動します。

※ フロントスイッチの ON により、PC マザーボードより電源駆動の信号が入ります。本機能は ATX マザーボードで提供されているものです。

■ 電源の停止

1. OS 終了による電源停止

OS、および PC マザーボードが ACPI/APM 機能を有している場合、OS 終了と共にパソコンが停止します。（+5VSB 出力を除く、全出力が停止します。）ACPI/APM 機能が無い場合、パソコン本体のフロントスイッチを OFF しパソコンを停止させます。このとき、ファンは低速回転となります。

⚠ 注意： **eNSP 電源がスイッチ付きテーブルタップを介して AC 商用電源から電力供給されている場合、テーブルタップのスイッチを OFF にすると、バッテリーは充電されませんのでご注意下さい。**

2. eNSP 電源の停止（パソコンを長期間使用しない場合）

eNSP 電源の電源スイッチ (通常のパソコンケースに装着した場合はパソコン本体の裏側) を OFF することにより 5VSB (スタンバイ) 出力も含め、eNSP 電源の全出力が停止します。長期間パソコンを使用しないときはスイッチを OFF にしてください。

⚠ 注意： **保存温度 35℃の場合 3 ヶ月ごと、保存温度 25℃の場合 6 ヶ月ごとを目安に補充電を行なうようにしてください。補充電を行なわない場合、充電しても十分に回復しない、またその後の使用においても十分な寿命が得られないことがあります。**

⚠ 注意： **電源スイッチの OFF は、PC が停止した状態で行って下さい。PC 稼働中に eNSP 電源の電源スイッチを OFF すると、PC に損傷を与えることがあります。特にハードディスクドライブ等の記憶装置が稼働中にスイッチを OFF にすると、データ破壊の恐れがあります。**

Nipron

6. 電源監視用プログラム

停電発生時、システムを自動的にシャットダウンさせるためには電源監視用プログラムが必要です。 （「eNSP-300P-S20-11S」のみ）
電源監視用プログラムは以下の通りです。

1. 電源監視ソフトウェアを用いる方法

弊社が用意する電源監視ソフトウェア
「NSP pro for Windows 95/98」「NSP pro for Windows NT」を用いる方法です。

● 対応 OS

Windows 95/98
Windows NT3.51/NT4.0

● インストール方法

電源監視ソフトウェア同封の取扱説明書をご参考下さい。

2. 無停電電源（UPS）サービスを用いる方法

Windows NT 系 OS 標準の無停電電源監視サービスを用いる方法です。

※別途 RS232C ケーブル（PS2601-01：Windows NT、PS2601-02：Windows 2000/XP）が必要です。

● 対応 OS

Windows NT / 2000 / XP

※Windows2000、XP の場合、PC が ACPI/APM 機能を有している必要があります。

● 設定方法

・ **Windows NT**

スタートメニューから [設定] → [コントロールパネル] → [無停電電源(UPS)]
を選択し、次のように設定して下さい。

①“無停電電源装置がｲﾝｽﾄｰﾙされているﾎﾟｰﾄ”をチェックしポートを指定します。

②“電源障害信号”を負に“ﾘﾓｰﾄ無停電電源ｼｬｯﾄﾀﾞｳﾝ”を正 にチェックします。“ﾊﾞｯﾃﾘ容量低下信号”はチェックしません。

③ [OK] をクリックするとサービスが起動します。

● 設定方法（つづき）

・ **Windows 2000 / XP**

**スタートﾒﾆｭｰから [設定] → [コントﾛｰﾙパネル] → [電源オプション]
を選択し、次のように設定して下さい。**

[UPS] のタブをクリックします。初期状態では UPS が選択されていないので [選択] 、[構成] の設定を行います。

① [選択] をクリックします。

②“製造元の選択”を「一般」、“モデルの選択”を「カスタム」にし、“ポート”を指定し、[次へ] をクリックします。

③“電源障害/ﾊﾞｯﾃﾘ駆動”を負に、“ﾊﾞｯﾃﾘの低下”を負に、“UPS ｼｬｯﾄﾀﾞｳﾝ”を正にチェックします。
[完了] をクリックします。

④ [構成] をクリックします。

⑤“すべての通知を有効にする”をチェックし、“電源障害が発生してから通知するまでの時間”、“その後の通知間隔”の時間を設定して下さい。
“ﾊﾞｯﾃﾘ駆動開始から警告を発するまでの時間”をチェックし、時間を設定して下さい。
“次にｺﾝﾋﾟｭｰﾀが行う動作”を「シャットダウン」にし、“UPS の電源を切る”の項目がある場合、チェックします。
[ＯＫ] をクリックします。

⑥ [適用] または [ＯＫ] をクリックするとサービスが起動します。

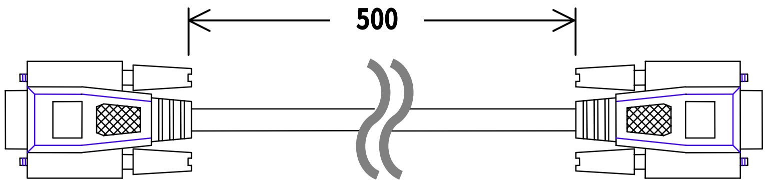
※ 上記２つのプログラムを同時に動作させると正常動作しませんので、２つ起動させた場合は、[サービス] より一方のプログラムを停止して下さい。

**※ Windows 95、Windows 98、Windows NT、Windows 2000、Windows XP は、
米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。**

7. オプション品

1. RS232C ケーブル 「PS2601-01」、「PS2601-02」

RS232C（D-Sub9）経由でマザーボードとのやりとりを行う場合に必要となります。
OS が Windows95/98、NT であれば「PS2601-01」、Windows 2000、XP であれば「PS2601-02」をお選びください。



RS232C ケーブル

2. バッテリーパック 「BS05A-P24/2.2L」、「RBS01A-P24/2.2L」

バッテリーパックをお使いになる場合は、弊社より販売中のノンストップ電源専用バッテリーパックをお使い下さい。適合するバッテリーパックは BS05A-P24/2.2L（内蔵型バッテリーパック）、および RBS01A-P24/2.2L（リムーバブルバッテリーパック）となっており、この 2 つのどちらかをお選びいただけます。

■ 適合バッテリーパック型式一覧

型式	種類	容量	外形 W×D×H
BS05A-P24/2.2L （内蔵型バッテリーパック）	**長寿命品縦横共用 5 インチベイ収納サイズ パソコン内蔵型**	**24V/2.3Ah**	**146×190×37**
RBS01A-P24/2.2L （リムーバブルバッテリーパック）	**長寿命品横置 5 インチベイ収納サイズ リムーバブル可能型**	**24V/2.3Ah**	**146×245×42**

⚠ 注意： **指定のバッテリーパック以外は使用しないでください。eNSP 電源およびバッテリーパックが破損する恐れがあります。**

■ バックアップ時間

バックアップ時間は、充電状態、周囲温度、使用期間等によって異なりますが 100W 出力時で約 10 分※、150W 出力時で約 5 分※となります。

※参考値であり保証値ではありませんので、ご注意下さい。

■ 充電時間

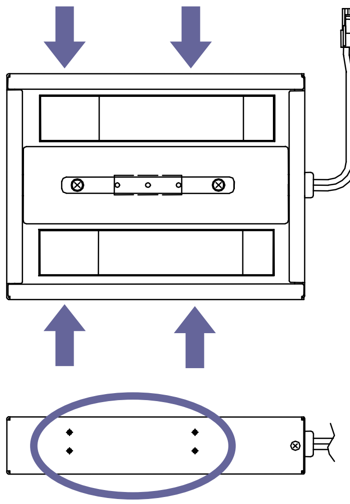
空の状態から満充電（充電電気量 100%）までの充電時間は約 10 時間となります。

※鉛バッテリーパックを空の状態（長期間保充電を行なわない場合）にしますと充電しても十分に回復しない、またその後の使用においても充分な寿命が得られないことがありますので、ご注意願います。

■ 取付ネジ穴の位置

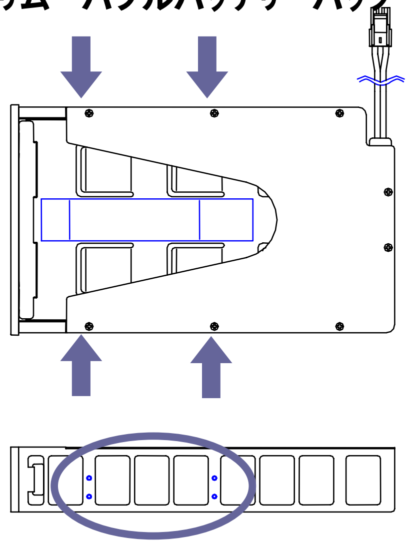
バッテリーパックをパソコンケースに取り付ける際は、下の 5 インチベイ用取付ネジ穴の位置を参考にして取り付けてください。

【 内蔵型バッテリーパック 】



側面 4 箇所
(全 8 箇所)

【 リムーバブルバッテリーパック 】



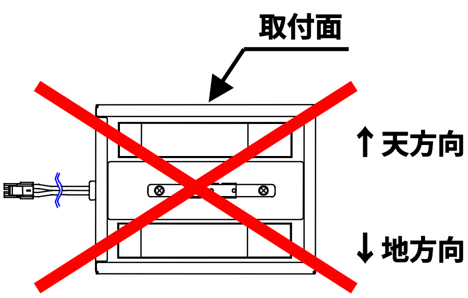
側面 4 箇所
(全 8 箇所)

■ 設置方向

⚠ 注意： **ノンストップ電源専用バッテリーパックには密閉型鉛蓄電池を使用しており、電池の構造の関係上、以下に示す方向には設置できませんのでご注意下さい。**

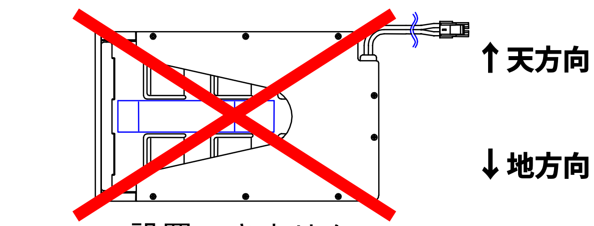
●設置不可な方向

【 内蔵型バッテリーパック 】

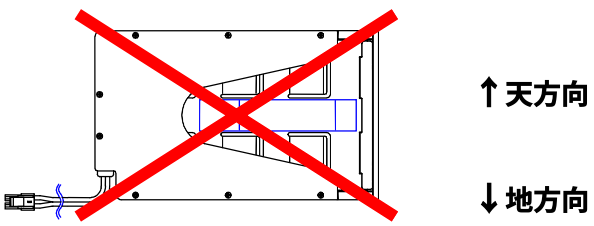


設置できません

【 リムーバブルバッテリーパック 】



設置できません



設置できません

■ バッテリーパック交換

バッテリーパックは、長期間使用しますと劣化が進み、充電しても容量が回復しなくなります。バッテリーパックの寿命は、使用頻度･放電量･使用温度などによって変化しますが、常温での使用で約 3～4 年程度となります。
バッテリーの交換が遅れた場合、バックアップが正常に行われなくなりますので、3 年を目安として定期的にバッテリー交換することをおすすめします。

交換方法１ ［BS05A-P24/2.2L（内蔵型バッテリーパック）の場合 ］

※ BS05A-P24/2.2L と、RBS01A-P24/2.2L（リムーバブルバッテリーパック）では交換方法が異なります。RBS01A-P24/2.2L をご使用の場合は、交換方法 2 を参照して下さい。

1. 電源スイッチを OFF にし、電源入力ソケットから AC 電源コードを外す

⚠ 注意： **電源スイッチの OFF は、PC が停止している状態で行って下さい。PC 稼働中に eNSP 電源の電源スイッチを OFF すると、PC に損傷を与えることがあります。特にハードディスクドライブ等の記憶装置が稼働中にスイッチを OFF にすると、データ破壊の恐れがあります。**

2. パソコンケースのカバーを取り外す

内蔵型バッテリーパックをご使用の場合は、パソコンケースの分解が必要となります。
※ パソコンケースの分解方法は、パソコンケースの取り扱い説明書に従って下さい。

3. バッテリー充放電コネクタを外し、古いバッテリーを取り外す

4. 新しいバッテリーパックを取り付けて、バッテリー充放電コネクタを接続する

5. パソコンを組み立てる

充放電コネクタの接続を確認し、パソコンケースを組み立てます。以上で、バッテリーパックの交換は終了です。
※ 組み立て方はパソコンケースの取り扱い説明書に従って下さい。

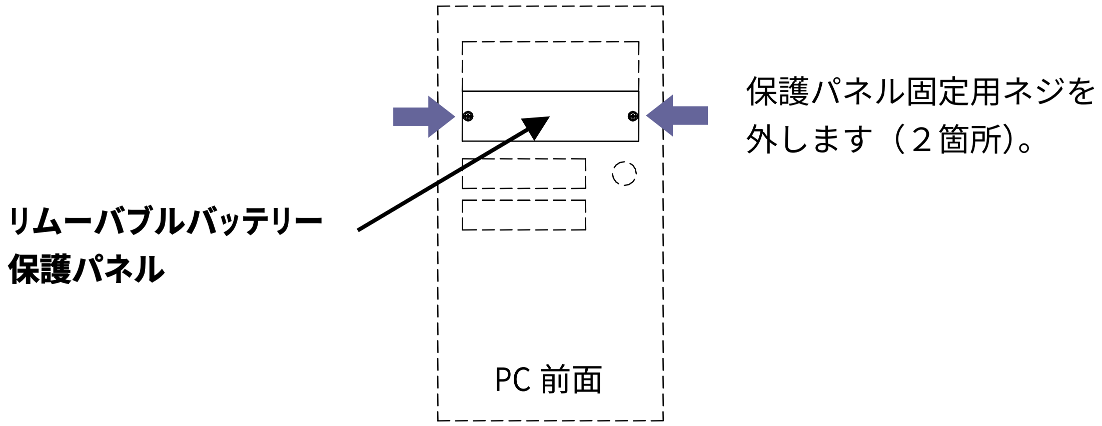
交換方法２　[RBS01A-P24/2.2L（リムーバブルバッテリーパック）の場合]

リムーバブルバッテリーはAC運転中（コンピュータ稼働中）に交換が可能ですので、パソコンのON/OFF時にかかわらずバッテリー交換ができます。

※注　バッテリー交換中は、バックアップできませんのでご注意下さい。

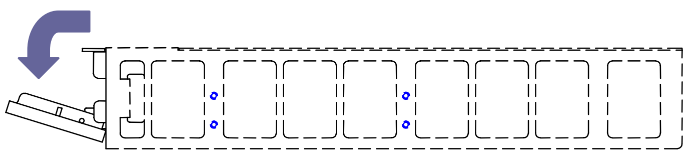
なお、交換用バッテリーパックの型式は「RBP01A-P24/2.2L」（フレーム無し）となります。

1. 保護パネル固定用ネジを取り外す

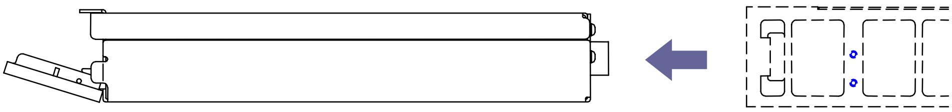


2. 古いバッテリーパックを引き抜く

① 保護パネルを手前に倒します。



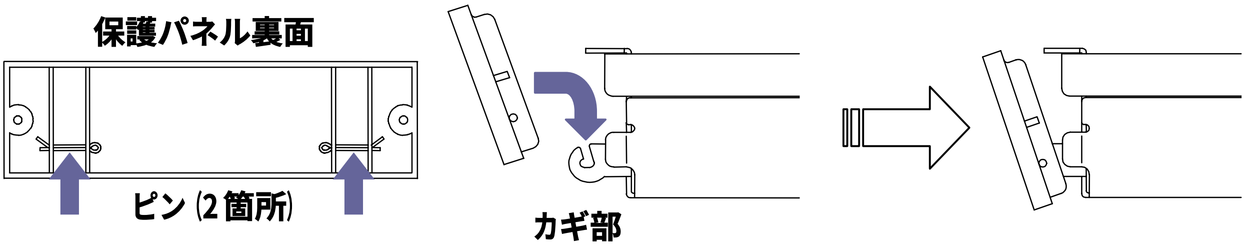
② バッテリーを引き抜きます。



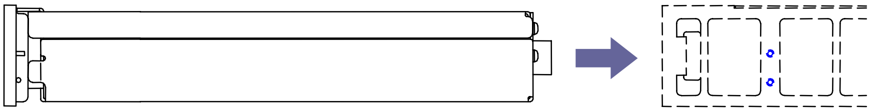
3. 新しいバッテリーパックを収納する

引き抜いたバッテリーパックから保護パネルを外し、新しいバッテリーパックに保護パネルを取り付け、収納します。

① 保護パネルのピンを新しいバッテリーパックのカギ部に引っかけます。



② 新しいバッテリーを 5 インチベイに収納します。

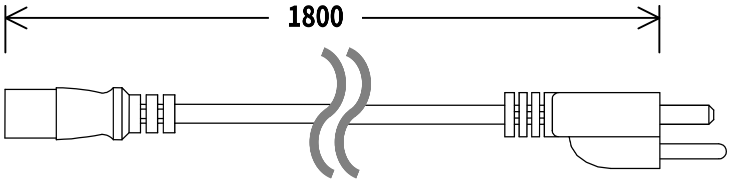


4. 保護パネル固定用ネジを締め付ける

以上でバッテリーの交換は終了です。

3.　AC 電源コード　「PS2753」

eNSP 電源に、AC 商用電源を供給するためには AC 電源コードが必要です。
弊社より販売中の AC 電源コードの型式は「PS2753」となります。

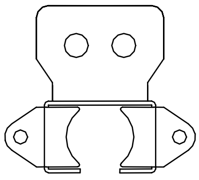


AC 電源コード 「PS2753」

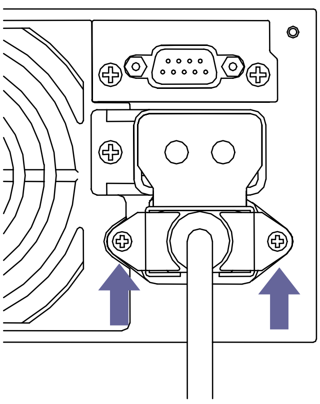
4.　コード抜け防止金具　「PS2734」

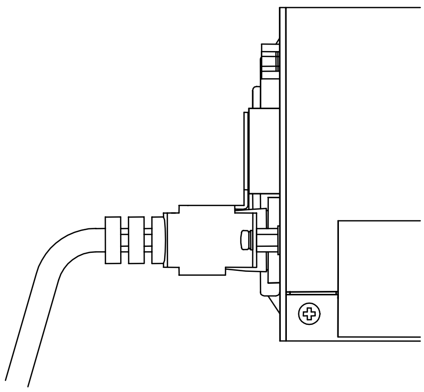
AC 電源コードにコード抜け防止金具を取り付けることで、AC 電源コードの抜けと電源スイッチの誤操作を防ぐことができます。型式は「PS2734」となります。
電源を ON/OFF する必要がある場合は、前面の穴から細い棒(つま楊枝など)を用いてスイッチを操作してください。

※AC 電源コードは、弊社 AC 電源コード「PS2753」をお使い下さい。市販品等の AC 電源コードでは取り付けられない場合があります。



コード抜け防止金具





ネジ止め(M3×5 使用)
2箇所

0311

5.　ノンストップユニット　「BU-300P-24P」

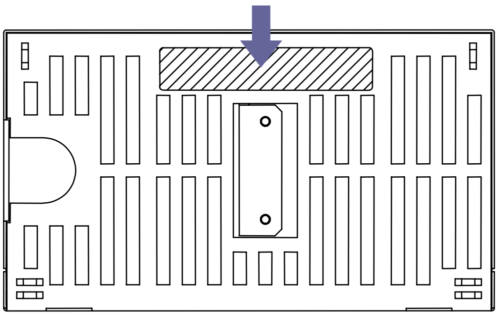
「eNSP-300P-S20-00S」から UPS 機能（バックアップ）を追加したい場合に必要です。
型式は「BU-300P-24P」となります。

※バックアップを行うには、バッテリーパック（P13 参照）が別途必要です。

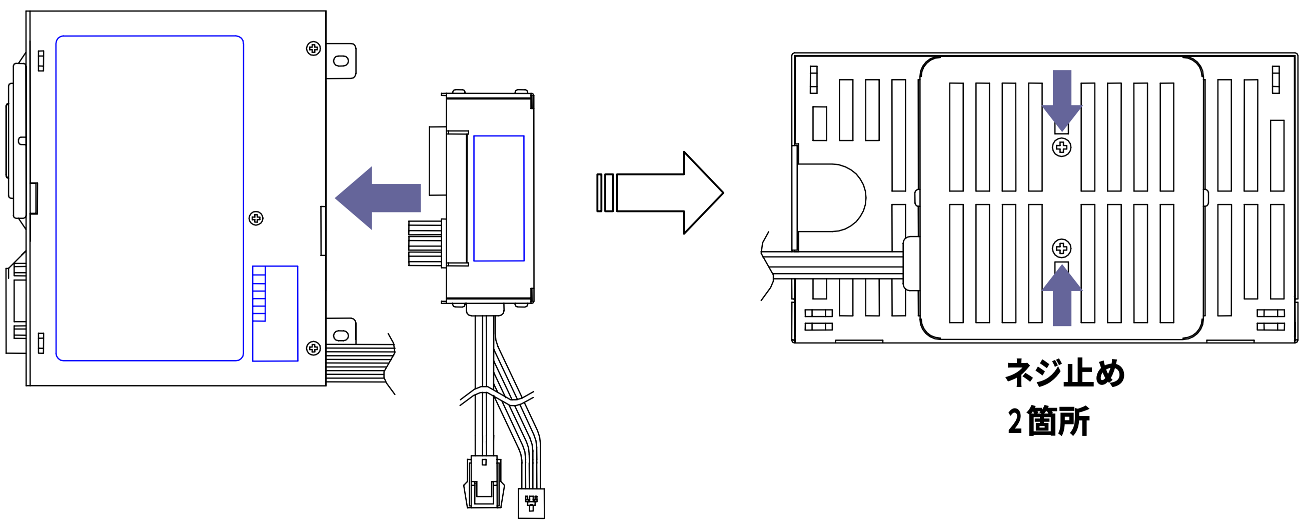
取付手順

「eNSP-300P-S20-00S」のノンストップユニット接続コネクタの保護シールを剥がし、ノンストップユニットを接続します。

①保護シールを剥がします。



②同梱のネジ2本を使用し、ノンストップユニットをコネクタの接続に注意しながら取り付けます。



注意：　**必ず同梱のネジまたは M3×40 を使用して下さい。**

注意：　**ネジの締め付けはしっかりと行って下さい。**
（推奨締め付けトルク：　0.5～0.6N･m）

6.　信号ユニット　「SU-RS」

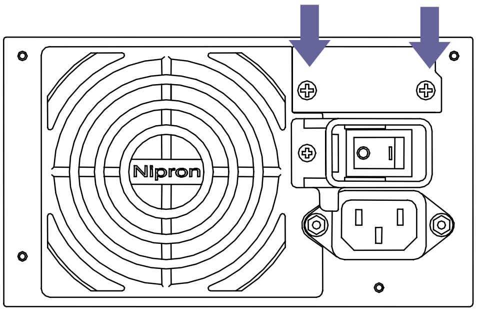
「eNSP-300P-S20-00S」からPCマザーボード間との通信を行い、自動シャットダウン機能を追加したい場合に必要です。
型式は「SU-RS」となります。

※自動シャットダウンを行うためには、ノンストップユニット(P19参照)、バッテリーパック(P13参照)、RS232Cケーブル(P13参照)、電源監視用プログラム(P11参照)が別途必要です。

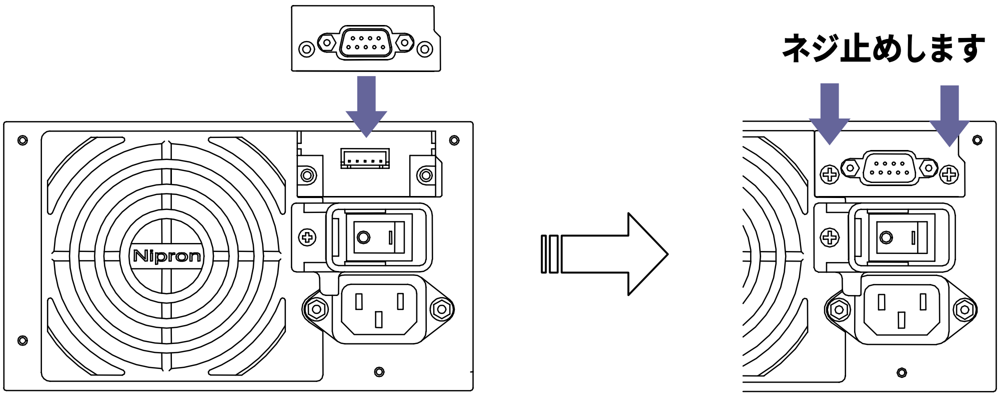
取付手順

保護カバーを外し、ネジ２本を使用して信号ユニットを本体部に取り付けします。

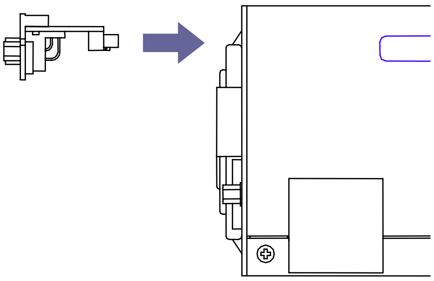
①　ネジを外し(2箇所)、保護カバーを取り外します。



②　①で外したネジを使用し、信号ユニットを取り付けます。



※　真っ直ぐ差し込んで下さい



注意：**信号ユニットのネジの締め付けは，あまり強くしないで下さい。強く締め付けると，ネジ穴が破損する恐れがあります。**
(　推奨締め付けトルク：　0.3～0.4N･m)

0311

8. トラブルシューティング

下記表にしたがってお調べいただいても、調子が思わしくないとき、その他ご不明な点があるときは、お買い上げの販売店または最終ページのお問い合わせ先にご相談下さい。

こんなときは	原因	対策
電源からマザーボード、周辺機器へ出力が供給されない。	電源ケーブルが電源入力ソケットまたは商用電源コンセントに正しく接続されていない。	接続を確認して下さい。
	PC マザーボード用電源ケーブルや各種周辺機器用電源ケーブルが正しく接続されていない。	接続を確認して下さい。
	電源スイッチが OFF になっている。	電源スイッチを ON にして下さい。
	電源の保護機能が働いている。	電源スイッチを OFF にし、10 秒以上放置した後に再度電源スイッチを ON にして下さい。
	負荷容量が仕様値を超えている。	負荷を仕様範囲内に抑えて下さい。
	商用電源の異常	復旧を待って下さい。
バックアップ運転しない。	電源とバッテリー間の充放電用ケーブルが正しく接続されていない。	接続を確認して下さい。
	バッテリーの容量が低下している。	バッテリーを充電または交換して下さい。
通信異常	通信用ケーブルが正しく接続されていない。	接続を確認して下さい。
	電源監視用プログラムが設定されていない。	「7.電源監視用プログラム」(18 ページ) に沿って設定して下さい。
	バッテリーの容量が低下している。	バッテリーを充電または交換して下さい。

Nipron

9. 仕様

■共通仕様

項目		仕様
使用環境	温度	0～50℃
	湿度	10～90%
保存環境	温度	-25～70℃
	湿度	10～95%
冷却方式		強制空冷
保証期間		納入後 1 年間とし、弊社の責による不具合が発生した場合には無償修理または交換とする。

■本体ユニット部

項目		仕様
入力仕様	定格電圧	AC100～240V （AC 入力動作範囲 85～264V）
	定格周波数	50/60Hz（許容範囲 47～63Hz）
	効率	68% typ（AC100V）、71% typ（AC240V）
	力率	98% typ（AC100V）、92% typ（AC240V）
出力仕様	定格電圧	3.3V／5V／12V／-5V／-12V／5VSB（スタンバイ）
	最大負荷	203.6W（AC 運転時 5 秒以内 303.6W）
寸法		幅 150×奥行 120×高 86
質量		1.6kg typ

■ノンストップユニット部

項目		仕様
バックアップ方式		NSP 方式
入力仕様	定格電圧	DC24V
	効率	67% typ
適合 バッテリー	種類	鉛バッテリー
	公称電圧	24V
	公称容量	2.3Ah
	充電時間	約 10 時間 （完全放電状態から満充電まで。バッテリー初期時）
寸法	ノンストップユニット部	幅 84×奥行 35×高 84
質量	ノンストップユニット部	0.4kg typ

■信号ユニット部

項目	仕様
インターフェース	RS232C

※原子力･航空機･軍事･宇宙用等の特殊用途および、人命に直接関係するものには使用しないでください。
※会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。
※この取扱説明書に記載の仕様または機能は、技術改善などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

Nipron

お問い合わせ先

株式会社　ニプロン

〒660-0805　兵庫県尼崎市西長洲町 1-3-30

電話：06-6487-4141

FAX：06-6487-2212

E-mail：support@nipron.co.jp

ホームページ：http://www.nipron.co.jp

受付時間：月曜日～金曜日

10:00～12:00 および 13:00～17:00

※ 土曜日、日曜日、祝祭日、会社休日は除きます